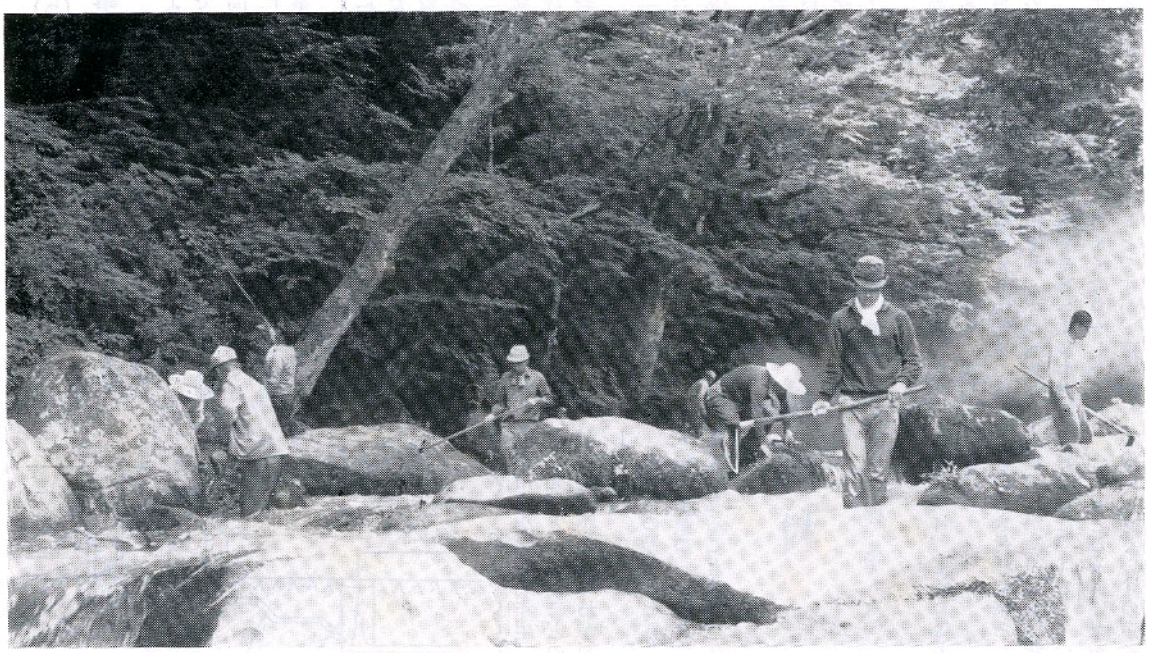
広報
さめがわ

1972
8月号
No.225
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町・佐藤印刷所



美しい村の自然を護りましょう

青い空、みどりの山、そしてきれいな川の流れは、私たちが遠い祖先からうけつぎ、これを永遠の子孫と人類みんなのために伝えるべき、かけがえのない資源です。

鮫川村の職員クラブでは、自然を愛護する運動の一環として、川をきれいにする奉仕作業を先週の土曜日の午後に実施しました。

この日、議会議員さんがたも協力して模範を示され、商工会青年部の皆さんも熱心な作業で道行く人たちの注目を集めました。

⊙毎月1日は交通事故ゼロ、歩行者優先の日
⊙夏の衛生、伝染病に注意しましょう
⊙7月21日より8月31日……夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動
⊙第3日曜日は「家庭の日」です

今月の人口

（8月1日現在）

人口	6,331	(－4)
男	3,189	(－5)
女	3,142	(＋1)
世帯	1,197	(＋1)

簡易水道 ⑤

給水装置工事

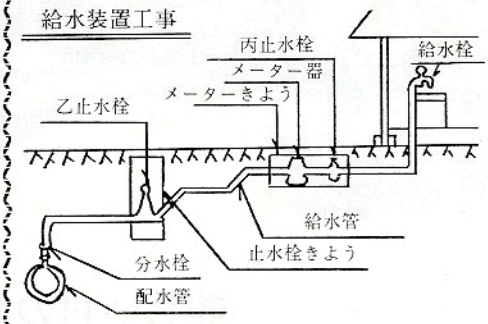
給水装置工事とは配水管より給水栓取付までの工事のことです。

さきに係員が各家庭を訪問して設計しましたが、近いうちにその設計書が出来ますので、工事費等の概算額がわかります。

設計に当つて見ると配管についての障害物が相当あり、また昨年度の設計より資材及び工事費等の値上りがあるため、多少の増額が予想されます。

設計書によつて、給水工事費の最底基準額が算出され、加入者の皆さんへ工事費納付書が配付になります。

配水本管布設工事については種々ご協力をいただきありがとうございました。本管布設工事も順調に進んでいますが、完成まではなおご迷惑をおかけすることがあるかと思います。よろしくご協力をお願いします。



今月の納税

国民健康保険税
第3期分です。

おくれず、わすれず納期内に納めましょう。

おらほの村み (16)

福島県の市町村数は九〇ですが、内訳は市が一〇、町が五三、村は二七であります。

この比率は市一一・一%町五八・九%村三〇・〇%で、町が断然多くなつております。

全国の市町村は三、二四二で、そのうち村は六四四ケ村、一九・九%ですから本県の村の数は全国平均よりかなり多いわけです。

町村合併促進法が全国の村の数を少なくし、町や市を多くすることに作用したことは当然でこれからもこの傾向は進むものと思われます。

ここで私たちは、改めて村の存在価値を再評価しなければならないし、「村」の存立する社会的な意味を考えなければならないと思うのであります。

昔からうけ継がれた村のイメージは、鎮守の森や、小フナ釣りし彼の川で象徴されるもの静かな環境と、あたたかで義理がたい人間関係であつたと思いますが、今では森厳な林相の鎮守の森も、概ねの町村では戦後の新制中学校の建設などで伐り潰され、小フナ釣りし彼の川も、農薬やビニールの残骸で魚も住みにくくなりました。

つい先日のことですが、東京都清瀬市の小学校二年生三〇名ほどが、先生と一〇名ほどのお母さんたちに付添われてわが村を訪れました。

社会科の勉強ということで、赤坂東野戸草の一農家に二泊し、今までに見ることのできなかつた大自然の姿に、じかにふれて帰りました。

このとき付添に来られたお母さんの一人が次のような便りを寄せてきました。

「山ふところにいだかれた大自然の村、うぐいすの声に目さめ、つめたい水で顔を洗い、上を見上げれば真青な空と山のみどり……ああ、日本にもこんな美しいものが残されていたのかと大きなよろこびと、おどろきを感じました。」

大変示唆に富んだ言葉です。

村のイメージでまだまだ変らないもの、それは村に残つている大自然の姿であります。ここに再評価されなければならない「村」の存在意義の大きな分野があると思います。

澄んだ青空、緑の山なみ、やまめの踊るきれいな川の流れこの美しい自然は、村人にとつてなくてならないだけではなく社会の多くの人々のために、民族のふるさと、人類の揺らんとして存在し、残されてゆくべきものと思うのであります。

美しい自然と村

村長 石田卯子八

農業委員会長決る

改選後初の農業委員会総会が七月二十五日に行われ、会長に関根信政氏が再選されました。

会長 関根信政
会長職務代理者 岡部伝
一号会議員 蛭田一

また関根会長は、東白川地方農業委員会連合会の副会長に選任されました。

おめでた

七月

石ノ花 舟木美和子 父 利美
巡ケ作 鈴木久義 〃 正利
折戸 阿久津和江 〃 順一
青生野 長井久幸 〃 太一
広畑 吉田ゆかり 〃 和男
道少田 堀雄一 〃 実

おくやみ

七月

滑石 上田啓治 62才 世帯主
新宿 小松源方 48才 ハルヱ
仁田 緑川一恵 61才 勤

毎年行われる議会議員団の村内視察研修。今年は炎天下の7月20日21日の両日行われ、昭和46年度施行の建設事業を中心に、約90件の施設や事業について現地調査が実施されました。



◎西野小学校の体育館建設現場を見る

◇　◇　◇　◇



◎酪農部落のモデル福原集乳所

◇　◇　◇　◇



◎官沢の災害復旧、片法枠工法はめずらしい

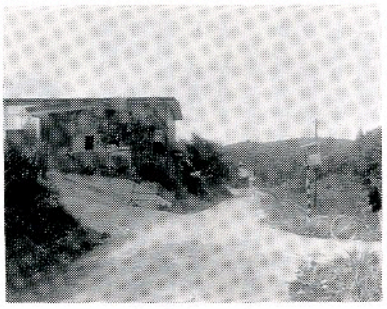
学校の前のかがみ

青生野小学校
五年　甲賀美智子

こんどわたしたちの学校の前に、四角のかがみ（註カーブミラー）が立てられた。

このかがみは、青生野小学校の生徒が自転車やバイクにしようとつして、大けがをしないようにと立ててくれたのだと思う。

いままでは、一年生から六年生までが手をあげて前のグラウンドへ行っていたが、四角のかがみが立てられてからは、

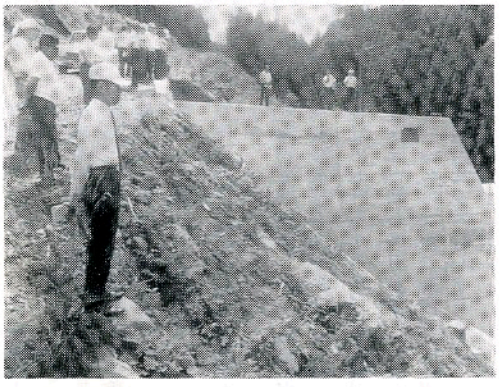


グラウンドへ行く時にもかがみをみただけで行ける。

それから車が右から来るのか、左から来るのか「かがみ」をみるとすぐわかるのでたいへん便利になつたと思います。

このかがみは、村長さんや鮫川村の人が協力して立ててくれたのだと思う。

このかがみをこわさないようにしてゆきたいと思います。



◎落合川砂防ダムが完成、災害のおそれは去つた

農業委員無投票で決る

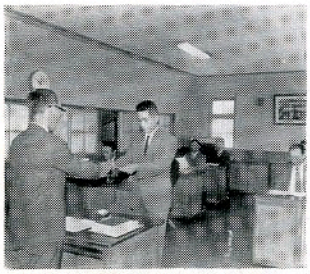
去る七月十四日は農業委員会委員の選挙の日でしたが、立候補者が定数を超えなかつたので無投票となりました。

七月十四日選挙会が開かれ次の方々が当選と決定され即日当選証書が交付されました。

字大竹	溝井武雄
字真坂	緑川利清（再）
字二反田	松本栄一
字発地岡	高野佳
字滝	須藤勇
字西野沢	芳賀文雄（再）
字追木	水野吉三郎
字青生野	長井久男（再）
字酒垂	石井利雄
字関口	藤田一朗
字内ケ竜	宗田貞治
字摺合	芳賀清一

なお学識経験者として、各団体より推せんされ選任された方は次のとおり

議会推せん	関根信政
〃	岡部伝
農協推せん	矢吹勝義
共済組合推せん	蛭田一弥義



選挙管理委員長から農業委員の当選証書が交付されました

新宿・道少田地内の道路 駐車禁止となります

七月二四日、交通対策協議会が公民館で開かれました。

私達の村から交通事故を追放しようと、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動と、鮫川村交通安全研修講師団設置及び交通規制について協議されました。

交通規制については先に設定した、新宿、道少田地内のスクールゾーンを充実するとともに、スムーズな交通を確保するため、速度制限、駐車禁止をしようとするもので、棚倉警察署志賀交通係長の説明があり、全員がこの案に賛成し、**八月二六日から**実施されることになりました。

なお速度制限は三〇km（新宿橋から保育所先までは二〇km）となり、駐車禁止は、隔月、片側禁止となります。

（新宿橋から保育所先までは全面駐車禁止）



夏の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

七月二一日から八月三一日まで行なわれています。

〃スローガン〃

無謀運転を追放しよう！

こどもと老人を交通事故から守ろう！

◆安全運転の励行

・暑さによる疲労が原因となつて起る事故に充分注意しよう

・安全速度を励行しよう

・二輪車を運転するときは、必ずヘルメットを着用しよう

・自転車の夜間の事故を防止するため、反射鏡、反射テープの整備、取り付けを励行しよう

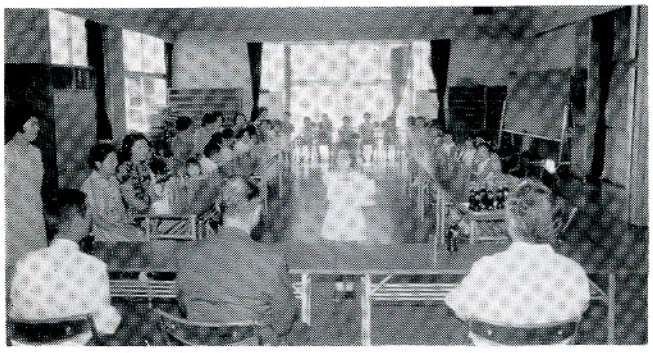
◆こどもと老人の安全確保

・夏休中の交通安全教育を徹底しよう

・交通安全は家庭からを目標に交通安全家族会議を実践しよう

◆夜間における歩行者の安全確保

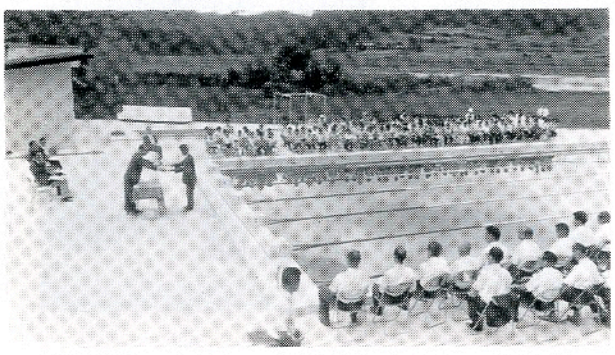
・夏季は夜間の外出が多くなります。白色の衣服の着用と、必ず照明用具を携行しましょう



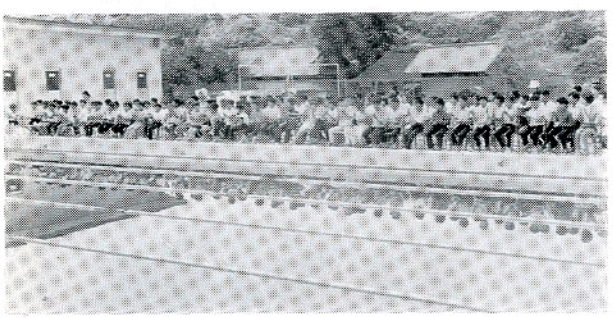
青い空緑の山を求めて

去る7月24日東京都清瀬市第７小学校の児童2年生約30名（他付添10名）が戸草分校を訪れ、２日間公害のないきれいな空気を満喫し、鮫川の自然を堪能して帰りました。

写真は戸草分校に向う途中、公民館で村長、教育長、鮫川小学校長にあいさつをする児童代表



渡瀬小学校に水泳プールが完成し、土用入りの7月20日に竣工式プール開きが行なわれました。



出来上つた立派な水泳プールを前にして、うれしそうな山の子たちの顔、顔

・狩猟者講習会・

今年も狩猟解禁を前にして、ハンター（経験者、初心者）に狩猟の安全を図るため、狩猟者講習会が開催されます。

受講希望者は棚倉林業事務所総務課あてに、講習会の開催日六日前までに申請書（役場農政対策室にあります）を提出して下さい

一、期日、場所

九月四、五日白河市中央公民館

九月六、七日棚倉町中央公民館

講習開始はいづれの会場も午前九時のため、受付は八時三〇分より八時五〇分まで。

二、受講申込みに必要なもの

㈠ 写真一枚、正面、無帽、上半身の（ライカ版）最近六ケ月以内に撮影したもの。

㈡ 認印

㈢ 手数料

イ、初心者

甲乙丙種一、一〇〇円

ロ、経験者

甲乙丙種、四〇〇円

経験者とは、昭和四四年度から昭和四六年度までに、狩猟免許を受けた者。

初心者は、一日目は法令、二日目実技講習を行うため二日間で経験者は一日です。

三、考査　初心者、経験者とも講習終了後引きつゞき一時間程度の考査を実施されます。

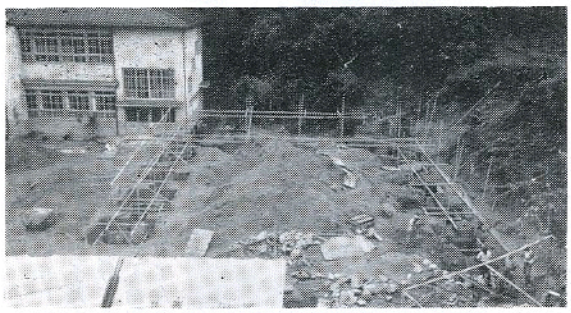
生活改善センター工事始まる

西野部落公民館の跡地に振興山村農林漁業特別開発事業として、村で初めての生活改善センターが建設されます。

工事は棚倉町渡辺産業株式会社が落札し、十二月二十五日完成を目ざして、去る八月一日着工しました。

構造は、鉄骨、一部木造平屋建二〇三㎡で、大研修室㈠、小研修室㈡、調理実習室㈢等が設計され完成後は、農村生活の近代化を進め、地域の生活水準を向上させるため活用されることになります。

生活改善グループの研修・農林業団体の研修・社会学級の活動・生活環境の整備普及など、多種多用な利用が期待されます。



—西野小に屋内運動場—

西野小学校（児童116名）に屋内運動場が建設されます
工事は去る7月20日に着工しました。

構造 鉄骨造り　面積 375㎡　工事費 13,600,000円
請負者　矢吹町　高田工業株式会社
完成予定　昭和47年12月5日



常備消防一段と充実

消防署鮫川出張所に広報車が配置されました。サイレン、赤ランプ等も設備されており、救急車が配置されるまで、救急車としても利用されることになっています。

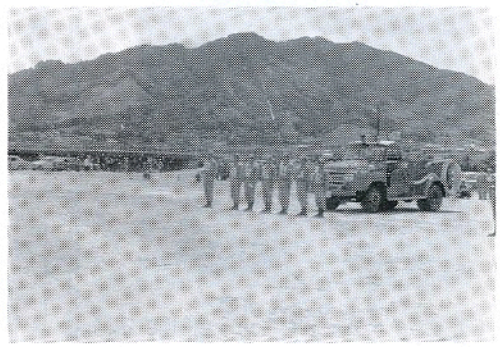
‘‘救急車のご用は、（電）119番へ,,



川をきれいにする奉仕作業に模範を示す議員さんたち。さすがに大鎌のさばきはあざやか…



役場A班B班は、畜産センター裏から強滝までを担当。ゴミを集め雑草を刈り大ふんとうでした



消防協会東白川支部ポンプ操法競技会は去る7月25日塙小学校校庭で開かれた。本村消防団から自動車ポンプ、可搬式動力ポンプとも予選会で選ばれた第4分団が出場しました。

◎◎◎◎◎台風シーズン

「暑い暑い」と、ふたことめに、口ぐせになっていた暑さも、8月の声を聞くと、朝夕涼しくなってまいりました。

さわやかな、風と共に、例年大型の台風に見まわれるのも、8月からです。

台風が日本の陸地に、直接影響する心配があると、気象庁予報部から、台風情報がだされ、新聞、テレビ等を通じて周知されます。台風の現在位置、強さと大きさ（最大風速）、進行方向、今後の予報をそのつどテレビ、ラジオを通じ報道されるので、たえず新しい台風情報に、十分注意して下さい。また、台風以外の強風、大雨のときでも、被害のでないよう心がけて下さい。

おやすみ前には、今一度火の元の安全をたしかめて下さい。

「火事と救急は、一一九番へ」

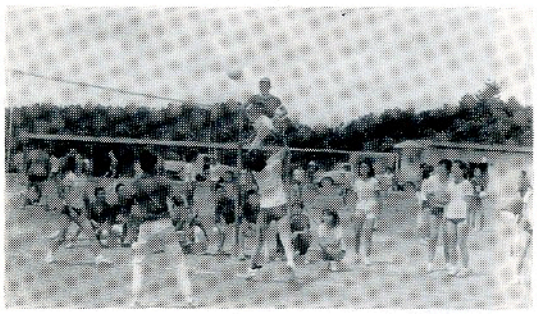
（白河消防署鮫川出張所）

9月1日は防災の日

昭和35年に「防災の日」が定められました。9月1日は暦の上で「二百十日」にあたり、台風シーズンのもつとも多いシーズンです。

あらゆる災害に備え万万きいの対策が必要です。とさ全一、被害が発生したは役場に急報して下

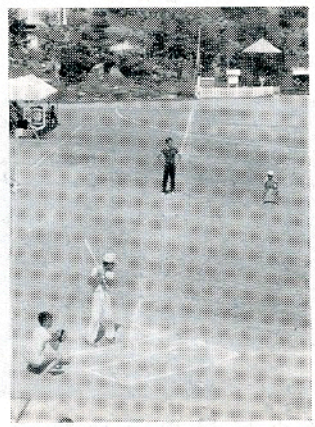
熱戦をくり展げた 少年球技大会



「健康が心をつくる人つくる」のスローガンのとおり、体力つくりの村として国の指定を受けてはやくも三年目を迎え、子どもから老人まで、村のスポーツ熱は最高潮に達した。

七月二十五日、からりと晴れ上った真夏の太陽の下、開会式に引きつづき村長の始球式によつて少年球技大会の幕が切つておとされた。

参加した小学生のソフトボール男子十チーム一二五人、女子九チーム一二三人、優勝旗を賭けての学校対抗試合、いやが上にも白熱した試合になり、熱心なPTAの大勢の応援を受けて、村内各校の児童生徒が元気に熱戦をくりひろげた。また、中学生の方部別対抗九人制（男五女四）バレーボールは十八チーム二一六人の参加があり、これまた優勝楯をかけての熱戦となり、部落の名誉をかけて、壇ケ岡の統合中学校々庭で終始なごやかに試合がすすめられた。



試合の結果

男子ソフトボール優勝　鮫小B
〃　準優勝　渡瀬小
女子ソフトボール優勝西山小B
〃　準優勝　渡瀬小
バレーボール優勝　中野A
〃　準優勝　西山B

今年はソフトボールのホームラン賞を射止めた人はなかつたが、バレーボール最優秀選手に、大河内由夫君、松本孝一君、近藤広子さんの三名が選ばれました。

＝体をきたえよう＝



イチ・ニイ・サン・シー……朝6時30分、ラジオのスイソチを入れると軽快なリズムが流れてくる。これは簡易保険局がNHKに委託して全国的に実施している体操のリズム……。今村内各学校の児童生徒は夏休み中ですが、子供会ごとに広場を利用して勉強の前に先ず運動をと、ラジオの伴奏に合せ、朝日を胸に元気いつぱいの体操です——

＝◆税コーナー◆＝

◇個人事業税◇

◉個人事業税第一期の納期は八月三十一日までです。

納期内の自主納税にご協力ください。

◉便利な納税の方法

個人事業税の納税者に対して口座振替納税の利用をおすゝめします。

（白河県税事務所）

◇国民健康保険税◇

第一期分の賦課は、四十六年度分の所得額が確定しないため、地方税法の規定により、暫定賦課（前年度の年税額により算出）により第一期、第二期分の通知書を差し上げました。

八月は今年度分保険税の本算定が行なわれ、確定した税額から暫定賦課額（第一期分、第二期分）を差引いた残りが第三期、第四期、第五期分として課税されることになります。

按分率等については次のとおりです。

◉按分率

所得割	資産割	均等割	平等割
2.11 % / 100	25.17 % / 100	1,540円	3,410円

減税該当者	区分	均等割	平等割
（減税金額）	6割減税	658円	1,727円
	4割減税	439円	1,152円

鮫川村農村工業導入促進協議会発足

農村地域に工業導入を促進するため、この協議会ができました。

八月一日第一回協議会が開かれ、次の役員が選任されました

会　長　大楽勝男
副会長　近藤陸男

協議会は、十五名の委員で構成され、工業導入の目標が審議されました。

工業導入の目標

一、工業を導入する地区
二、導入対象工業の業種
三、導入される工業への農業従事者の就業目標
四、工業の導入と相まつて促進すべき農業構造の改善目標
ア、基盤整備と農地保有の合理化
イ、農業近代化施設の導入
五、工業用地と農用地等との利用調整
米の生産調整による水田の転用
六、工場用地、その他の施設の整備
七、工業導入に伴なう自然の保護及び公害の防止

とうけい

九月一日現在で全国いつせいに第十回事業所統計が実施されます。